



No. 9-1
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
平成22年度第6回

国道161号

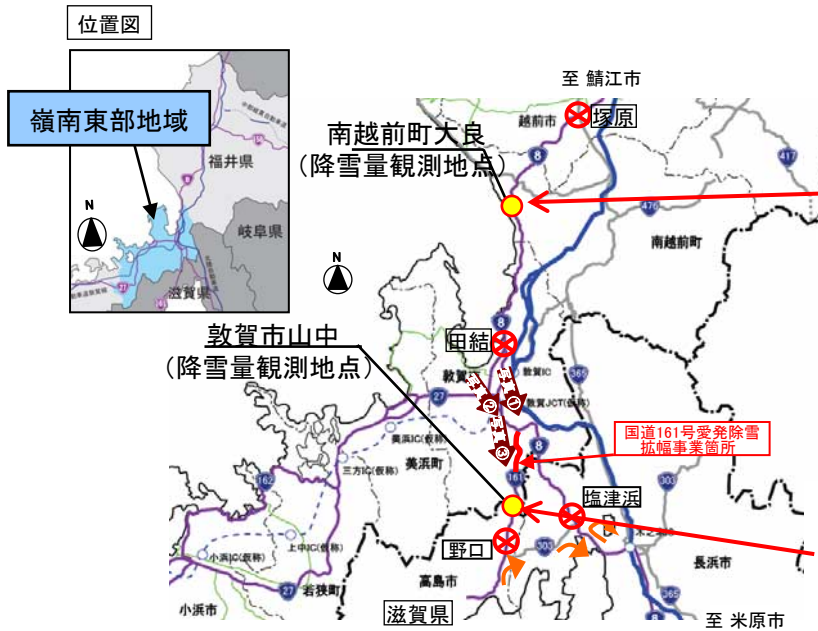
あ ら ち
愛 発 除 雪 拡 幅

【再評価】

平成23年3月
近畿地方整備局

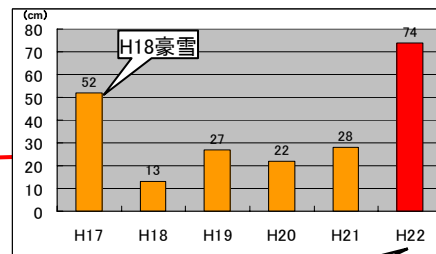
1. 防災面の課題の整理

- 国道161号事業区間の降雪量は秋田市や山形市に匹敵
- 平成23年1月30日の降雪では、国道161号高島市野口と国道8号長浜市塩津浜で、福井方面の通行止め(通行止時間 1/31 11:55~2/1 8:10)が発生、及び国道8号は敦賀市田結~越前市塚原間で通行止め(通行止時間 1/31 1:30~1/31 20:00)が発生



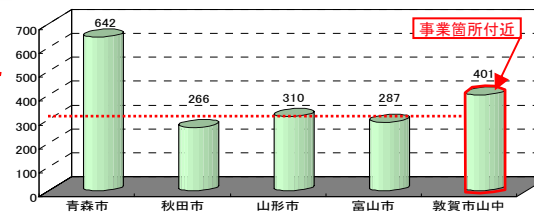
※嶺南東部地域: 敦賀市、美浜町、若狭町(旧三方町域)

日最大降雪量(南越前町大良)



1月30日7:00~1月31日 7:00
の降雪量 74cm

各地の過去10年平均累計降雪量



出典: 気象庁気象統計情報



30年ぶり豪雪猛威



H23.2.1 福井新聞
(福井新聞社提供)



① 国道161号敦賀市足田交差点付近状況



② 国道8号敦賀市足田地区停滞状況



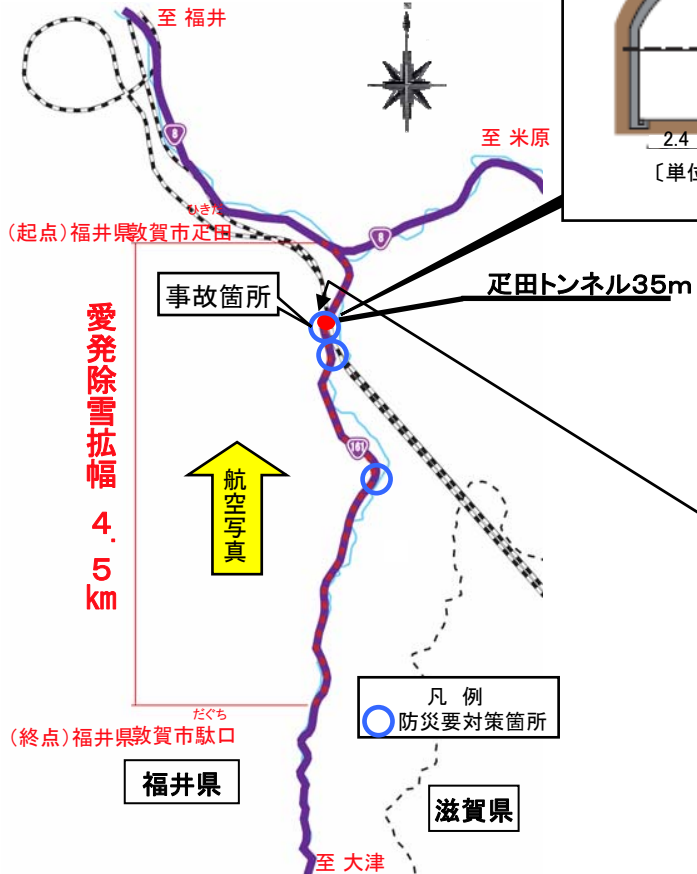
③ 敦賀市駄口付近積雪状況

H23.2.1 読売新聞
(読売新聞社提供)

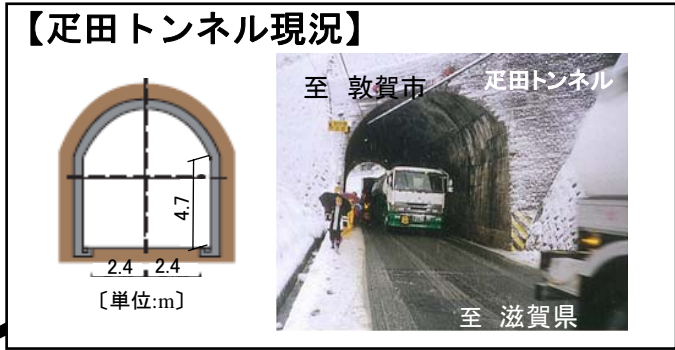
1. 防災面の課題の整理

- 国道161号 福井県・滋賀県境付近には、大型車のすれ違いができない幅員狭小区間(足田トンネル)が存在
- 当該区間には防災要対策箇所が3箇所存在

【国道161号の課題位置図】



【足田トンネル現況】

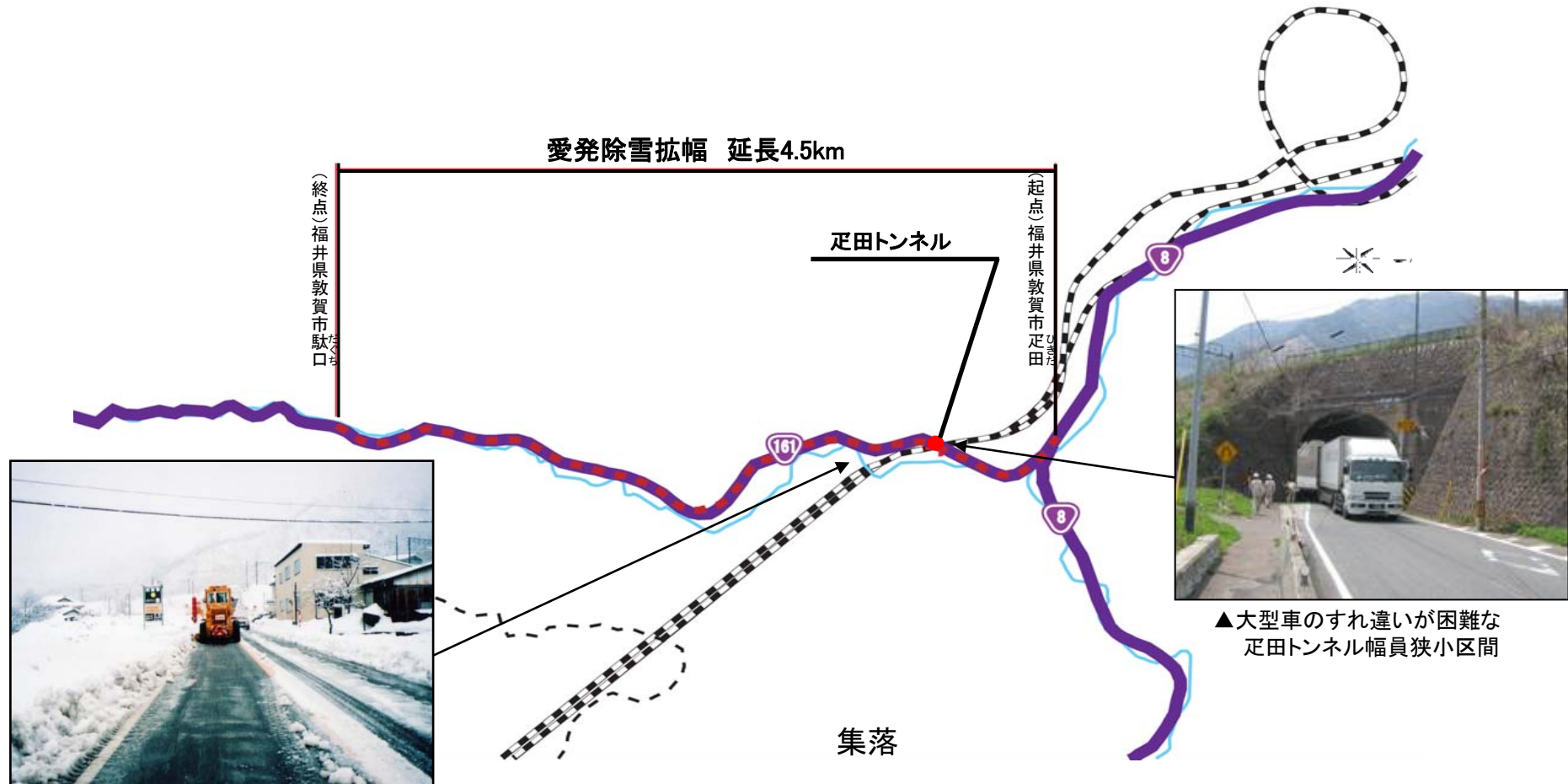


平成22年4月撮影

2. 課題を踏まえた対策の検討

■積雪等に対する通行止めを回避するとともに、大型車のすれ違いができない幅員狭小区間(疋田トンネル)を解消する対策を検討

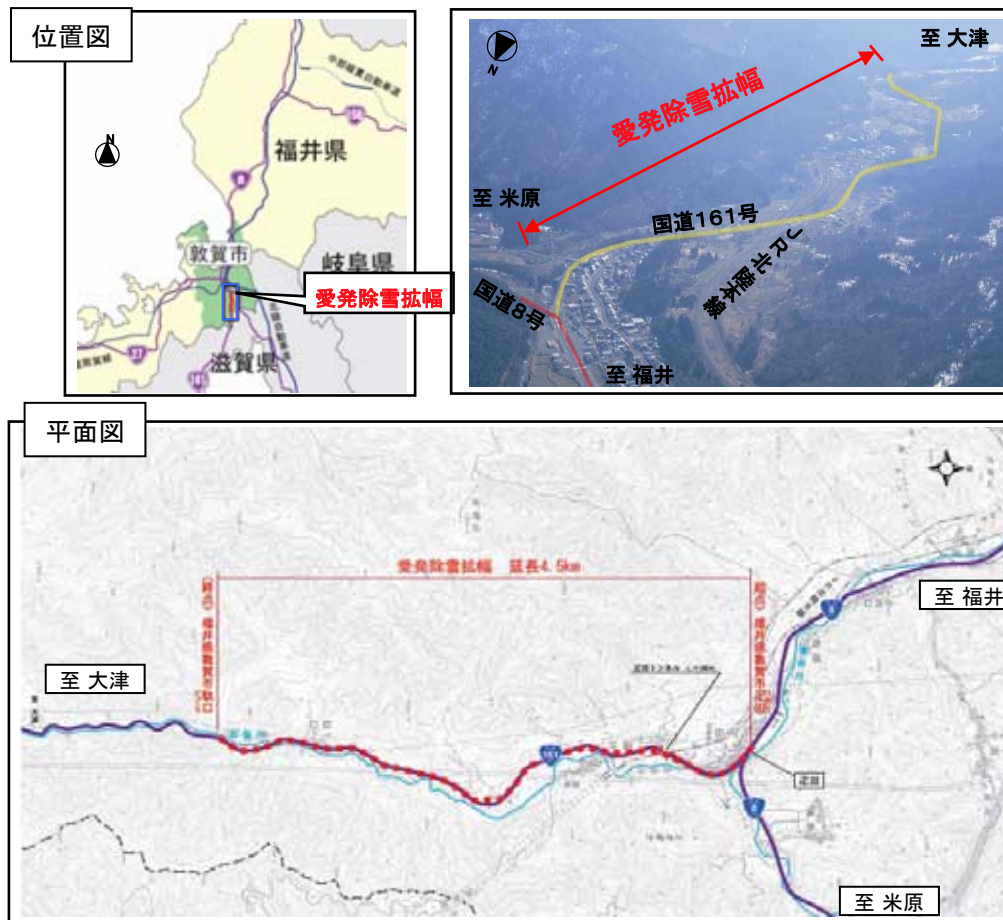
・積雪時の交通を確保するため堆雪幅を設置するとともに、幅員狭小区間にトンネルを施工する計画



2. 課題を踏まえた対策の検討

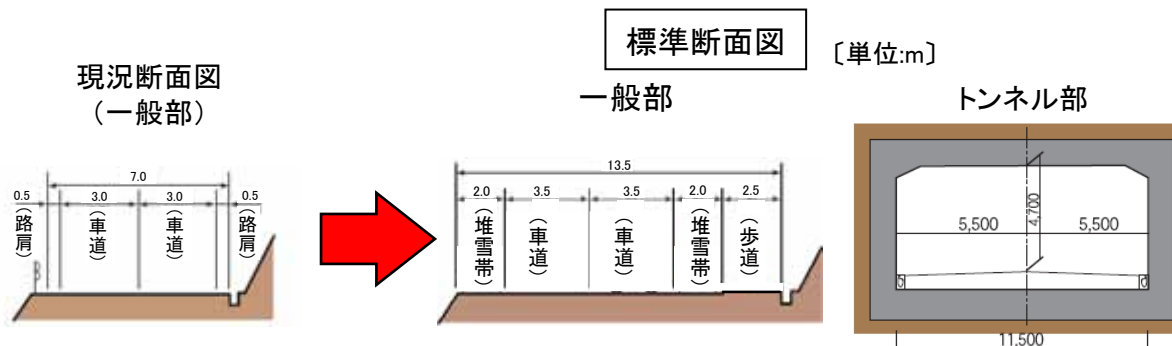
計画の概要

区間	(起) 福井県敦賀市疋田 (終) 福井県敦賀市駄口
道路延長	4.5km
構造規格	第3種第2級
設計速度	60km/h
車線数	2車線
標準幅員	13.5m
計画交通量	6,100台/日
全体事業費	81億円
事業化	平成15年度
用地着手	平成6年度
工事着手	平成16年度
供用延長	—
事業進捗率	約30%(平成22年3月末現在)
用地取得率	約26%(同上)



事業の整備効果

- 積雪等による通行止めの回避
- 防災要対策箇所の解消等



3. 事業効果の把握

■ 通行止めによる迂回の回避(事業区間)

- ・事故等により、現道では過去10年間に7回通行止め(延べ7日間)が発生
- ・現道で通行止めが発生した場合、大幅な迂回
- ・愛発除雪拡幅の整備により、通行止めによる迂回を回避

現道区間(国道161号)が通行止め時の迂回



過去10年間の通行止め実績(国道161号)

発生年月日	内容	通行止日数(日)
H16.11.4	事故	1
H19.3.12	事故	1
H19.7.28	事故	1
H20.1.25	事故	1
H20.7.5	事故	1
H20.8.4	事故	1
H20.9.1	事故	1
合計		7
年平均		0.7

過去10年間に延べ7日の通行止めが発生

過去10年間の通行止め実績から算出した年あたりの迂回解消便益 0.09億円/年

現道区間の通行止日数×迂回解消による効果
(走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少)

供用後50年間に換算
1.3億円

3. 事業効果の把握

■事業の投資効果

- ・効果については多岐多様に渡るが、災害時の迂回解消を含む走行時間短縮等について、貨幣換算を行い算出
また、地域住民の不安感の解消について、CVM(仮想的市場評価法)により算出
- ・費用については、道路整備に係る建設費、及び維持管理費で算出

■費用

□事業全体	89億円
・事業費	72億円
・維持管理費	17億円
□残事業	63億円
・事業費	46億円
・維持管理費	17億円

■算出条件等

基準年	: 平成22年度
検討期間	: 50年間
現在価値算出のための社会的割引率	: 4%
交通量の推計時点	: 平成42年度
推計に用いた資料	: 平成17年度 道路交通センサス
事業費	: 81億円
維持管理費	: 26百万円/km
作成主体	: 近畿地方整備局

■効果

災害時の迂回解消を含む走行時間短縮等

・走行時間短縮	102億円	112億円
・走行経費減少	8.2億円	
・交通事故減少	0億円	
・通行止めによる迂回解消(事業区間)	1.3億円	

災害による被害の回避

・降雪時の交通安全の向上	—	—
--------------	---	---

地域住民の不安感の解消

・CVM調査	116億円	116億円
--------	-------	-------

道路の信頼性に関するアンケート調査(H23.2)結果より、支払意志額:324円/世帯、対象地域:197,133世帯で算出

※効果のうち、貨幣換算していないものは“—”とした

4. 関係自治体の意見

■福井県知事

平成23年3月9日 土政推第68号
近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る意見照会
について(回答)

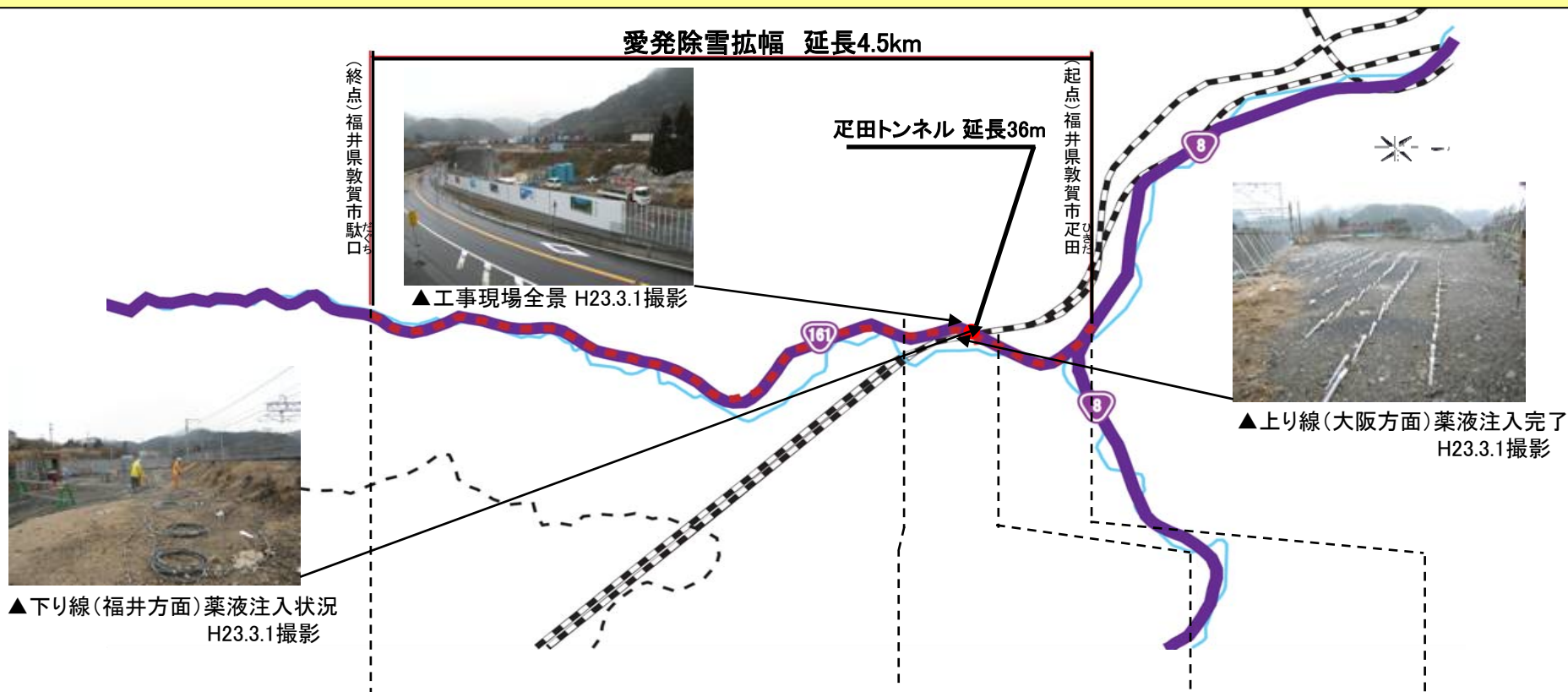
愛発除雪拡幅の対応方針(原案)「事業継続」については異存なし。
事業実施に当たっては一層のコスト縮減に努め、足田トンネル区間について、
平成26年度の降雪期までの供用を図ること。

地域計画等への位置付け

- 第5次敦賀市総合計画 第3期基本計画(平成19年3月)
- 福井県原子力発電施設等立地地域の振興に関する計画(平成14年3月)
- 福井県都市計画マスタープラン(平成16年5月)

5. 事業進捗の見込み

- 愛発除雪拡幅は平成15年度に事業化し、平成16年度より工事に着手しており、足田トンネル区間は平成26年度に開通予定
- 引き続き事業を推進し、早期の全線供用を目指す

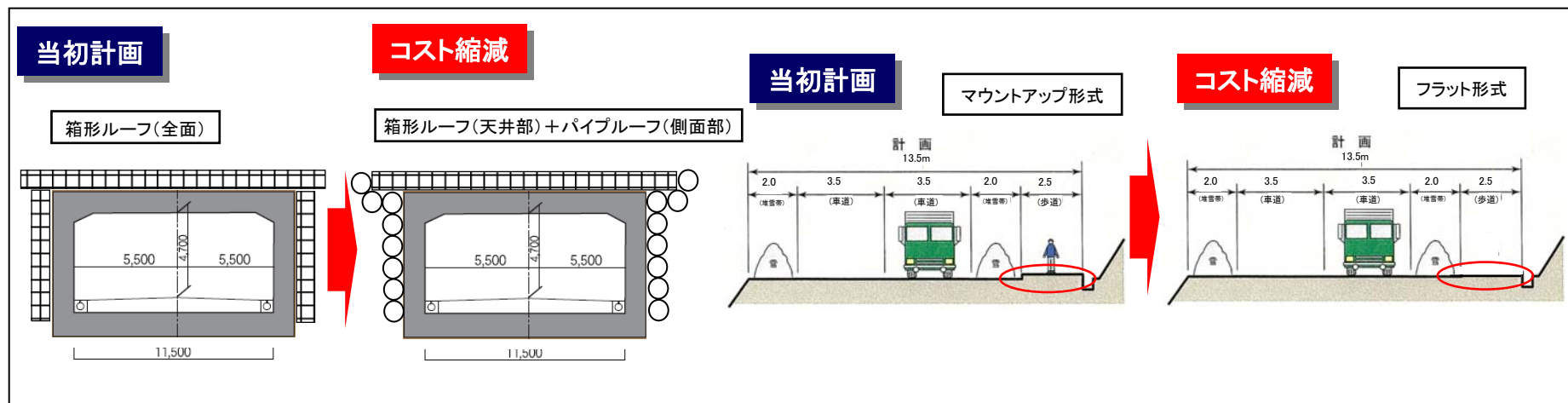


区 間	駄口・追分工区(延長3.5km)	足田工区(延長1.0km)	
		足田トンネル区間 延長0.5km	
用 地	用地取得(0%)	用地取得(86.8%)	
		用地取得(98.0%)	用地取得(0%)
工 事	—	トンネル・改良工事推進	—

6. コスト縮減や代替案立案等の可能性

愛発除雪拡幅は、積雪等に対する通行止めを回避し、大型車のすれ違いが困難な足田トンネルの幅員狭小区間の解消等を目的に、周辺の地形状況等を勘察し選定された合理的な計画であり、引き続き現計画に基づき事業を推進

愛発除雪拡幅ではこれまでに、トンネル仮設工について、箱形ルーフ(全面)から側面部をパイプルーフに変更するなど、コスト縮減に努めてきました
今後、更に歩道をマウントアップ型式から、フラット型式に見直し、新技術・新工法の積極的な活用など、より一層コスト縮減に努める



7. 対応方針(原案)

国道161号 愛発除雪拡幅

1. 事業の必要性等に関する視点

- ・国道161号事業区間の降雪量は秋田市や山形市に匹敵
- ・国道161号 福井県・滋賀県境付近には、大型車のすれ違いが困難な疋田トンネルが存在
当該区間には防災要対策箇所が3箇所存在
- ・愛発除雪拡幅の整備により、積雪等に対する通行止めを回避するとともに、大型車のすれ違いができない幅員狭小区間の解消、災害時の迂回解消を含む走行時間短縮等、災害による被害の回避、地域住民の不安感の解消等の効果が期待される

2. 事業進捗の見込みの視点

- ・平成15年度に事業化し、平成16年度より工事着手しており、疋田トンネル区間は平成26年度に開通を予定。
- ・引き続き事業を推進し、早期の全線供用を目指す

愛発除雪拡幅は、事業の必要性に関する視点、事業の進捗の見込みの視点から継続が妥当と判断できる

引き続き事業を推進し、早期の供用を目指すことが適切である

事業継続



No. 9-2
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
平成22年度第6回

国道161号
あ ら ち
愛発除雪拡幅
【再評価】

平成23年3月
近畿地方整備局

(再評価)

様式-2

費用と便益の内容

※便益は、災害時の迂回解消を含めた走行時間の短縮 等

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・B P・その他の別
国道161号	愛発除雪拡幅	L = 4.5km	二次改築	現拡

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
6,100	2車線	近畿地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成22年度		
単純合計	77億円	56億円	133億円
うち残事業分	55億円	56億円	111億円
基準年における 現在価値 (C)	72億円	17億円	89億円
うち残事業分	46億円	17億円	63億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成22年度			
供用年	平成32年度			
単年便益 (初年便益)	6.4億円	0.51億円	0.002億円	7.0億円
基準年における 現在価値 (B)	103億円	8.4億円	0.02億円	112億円
うち残事業分	103億円	8.4億円	0.02億円	112億円

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

交通状況の変化

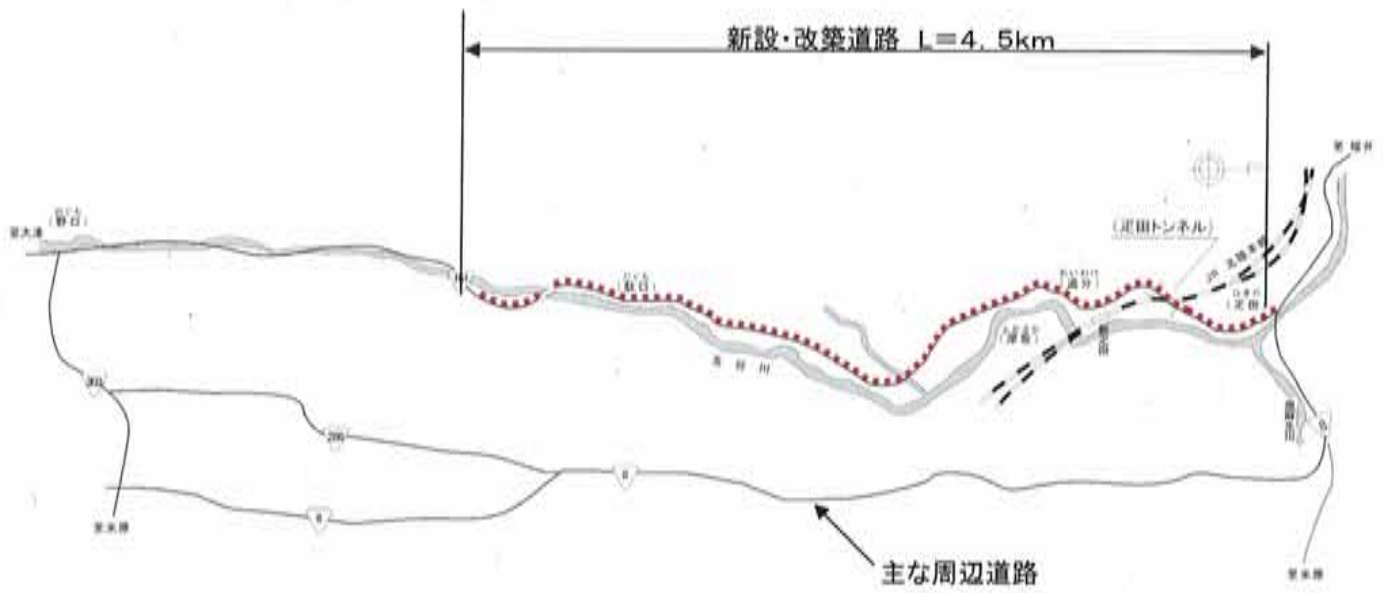
様式-3①

事業名：愛発除雪拡幅（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし (A)	整備あり (B)		
①新設・改築道路 (4.5km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	6,100	6,100		
	走行時間 ^{※2}	[分]	14	8		
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	17.49	10.52		
②主な周 辺道路 ^{※4}	一般国道8号 (5.8km)	交通量	[台/日]	4,600	4,600	
		走行時間	[分]	9	9	
		走行時間費用	[億円/年]	8.51	8.45	
		交通量	[台/日]	0	0	
		走行時間	[分]	0	0	
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00	
		交通量	[台/日]	0	0	
		走行時間	[分]	0	0	
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00	
		交通量	[台/日]	0	0	
		走行時間	[分]	0	0	
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00	
	③その他道路合計 (2,807.9km)	走行時間費用	[億円/年]	5,710.97	5,710.93	
					走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)
		合計：2,818.2km	走行時間短縮便益	[億円/年]	5,736.97	5,729.90
			走行時間短縮便益 (A - B)			
			7.07			

(2) 図面 (①、②) に該当する道路を明示すること



交通状況の変化

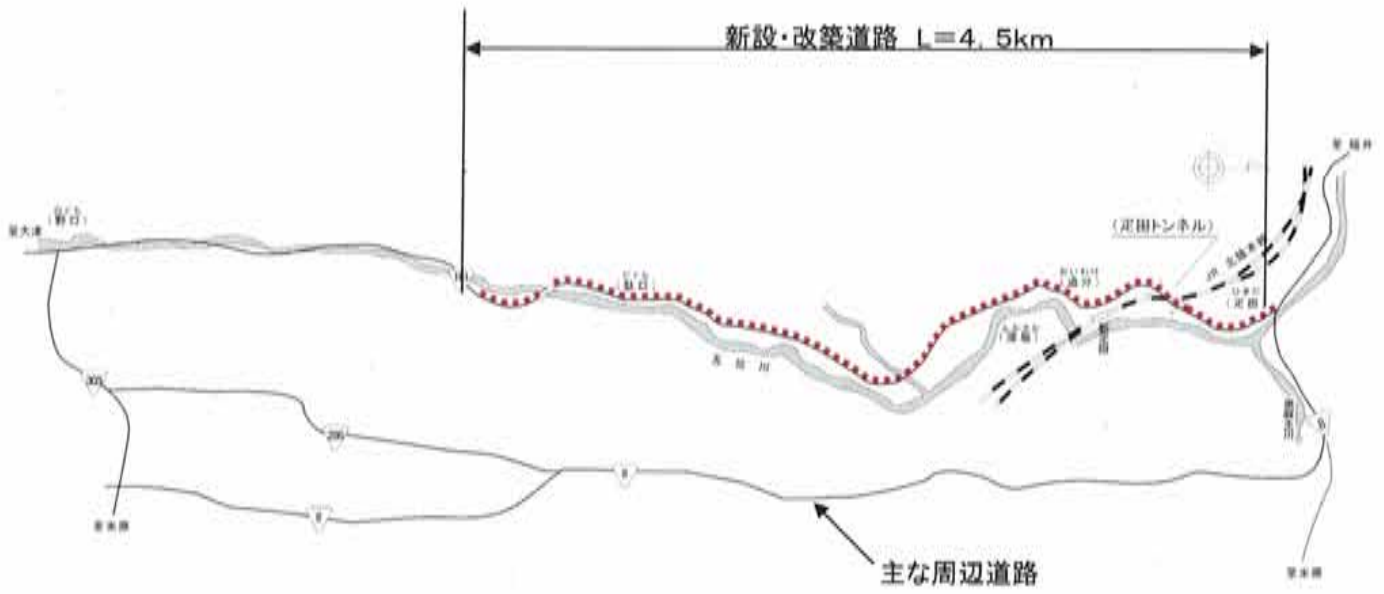
様式-3①

事業名：愛発除雪拡幅（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 (4.5km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	6.100	6.100	
	走行時間 ^{※2}	[分]	14	8	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	17.49	10.52	
②主な周辺道路 ^{※4}	一般国道8号 (5.8km)	交通量	[台/日]	4.600	4.600
		走行時間	[分]	9	9
		走行時間費用	[億円/年]	8.51	8.45
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
	③その他道路合計 (2,807.9km)	走行時間費用	[億円/年]	5,710.97	5,710.93
				走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)
合計：2,818.2km	走行時間短縮便益	[億円/年]	5,736.97	5,729.90	7.07

(2) 図面 (①、②) に該当する道路を明示すること



算出の条件

事業名：愛発除雪拡幅

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成22年	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサスベース)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
	その他()		
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)		
	その他(BPR関数と転換率式の併用による配分)	<input checked="" type="checkbox"/>	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
	最終配分の速度	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、最終速度を採用。		
	その他()	<input type="checkbox"/>	

交通流推計

(3)

項目		チェック欄	
休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
		対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
		採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
	考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	(1) 日
		過去10年間の平均日数	
		とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載 過去の実績データがないため	<input type="checkbox"/>
冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他 ()	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>	
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>	
その他			

便益の算定

費用の現在価値算定表(事業全体)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 国道161号 愛発除雪拡幅

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
				0.26		4.5	1.17
-34年目	S 61	2.5633	94.6	0.10	0.25		
-33年目	S 62	2.4647	94.4	0.02	0.05		
-32年目	S 63	2.3699	94.9	0.02	0.05		
-31年目	H 1	2.2788	97.4	0.09	0.19		
-30年目	H 2	2.1911	99.6	0.23	0.47		
-29年目	H 3	2.1068	102.0	0.03	0.05		
-28年目	H 4	2.0258	103.4	0.13	0.23		
-27年目	H 5	1.9479	103.7	0.19	0.33		
-26年目	H 6	1.8730	103.6	0.25	0.42		
-25年目	H 7	1.8009	103.0	0.82	1.30		
-24年目	H 8	1.7317	102.4	2.22	3.43		
-23年目	H 9	1.6651	103.4	0.00	0.00		
-22年目	H 10	1.6010	102.8	0.00	0.00		
-21年目	H 11	1.5395	101.3	0.00	0.00		
-20年目	H 12	1.4802	99.7	0.00	0.00		
-19年目	H 13	1.4233	98.4	0.00	0.00		
-18年目	H 14	1.3686	96.6	0.00	0.00		
-17年目	H 15	1.3159	95.4	0.29	0.36		
-16年目	H 16	1.2653	94.4	0.30	0.36		
-15年目	H 17	1.2167	93.2	0.05	0.06		
-14年目	H 18	1.1699	92.5	0.29	0.33		
-13年目	H 19	1.1249	91.7	2.12	2.38		
-12年目	H 20	1.0816	91.3	4.14	4.48		
-11年目	H 21	1.0400	91.3	0.42	0.44		
-10年目	H 22	1.0000	91.3	10.48	10.48		
-9年目	H 23	0.9615	91.3	9.52	9.16		
-8年目	H 24	0.9246	91.3	10.35	9.57		
-7年目	H 25	0.8890	91.3	8.04	7.15		
-6年目	H 26	0.8548	91.3	4.98	4.26		
-5年目	H 27	0.8219	91.3	0.95	0.78		
-4年目	H 28	0.7903	91.3	4.76	3.76		
-3年目	H 29	0.7599	91.3	3.62	2.75		
-2年目	H 30	0.7307	91.3	4.29	3.13		
-1年目	H 31	0.7026	91.3	3.94	2.77		
供用開始年次	H 32	0.6756	91.3	4.59	3.10	1.11	0.75
1年目	H 33	0.6496	91.3			1.11	0.72
2年目	H 34	0.6246	91.3			1.11	0.70
3年目	H 35	0.6006	91.3			1.11	0.67
4年目	H 36	0.5775	91.3			1.11	0.64
5年目	H 37	0.5553	91.3			1.11	0.62
6年目	H 38	0.5339	91.3			1.11	0.59
7年目	H 39	0.5134	91.3			1.11	0.57
8年目	H 40	0.4936	91.3			1.11	0.55
9年目	H 41	0.4746	91.3			1.11	0.53
10年目	H 42	0.4564	91.3			1.11	0.51
11年目	H 43	0.4388	91.3			1.11	0.49
12年目	H 44	0.4220	91.3			1.11	0.47
13年目	H 45	0.4057	91.3			1.11	0.45
14年目	H 46	0.3901	91.3			1.11	0.43
15年目	H 47	0.3751	91.3			1.11	0.42
16年目	H 48	0.3607	91.3			1.11	0.40
17年目	H 49	0.3468	91.3			1.11	0.39
18年目	H 50	0.3335	91.3			1.11	0.37
19年目	H 51	0.3207	91.3			1.11	0.36
20年目	H 52	0.3083	91.3			1.11	0.34
21年目	H 53	0.2965	91.3			1.11	0.33
22年目	H 54	0.2851	91.3			1.11	0.32
23年目	H 55	0.2741	91.3			1.11	0.31
24年目	H 56	0.2636	91.3			1.11	0.29

25年目	H	57	0.2534	91.3			1.11	0.28
26年目	H	58	0.2437	91.3			1.11	0.27
27年目	H	59	0.2343	91.3			1.11	0.26
28年目	H	60	0.2253	91.3			1.11	0.25
29年目	H	61	0.2166	91.3			1.11	0.24
30年目	H	62	0.2083	91.3			1.11	0.23
31年目	H	63	0.2003	91.3			1.11	0.22
32年目	H	64	0.1926	91.3			1.11	0.21
33年目	H	65	0.1852	91.3			1.11	0.21
34年目	H	66	0.1780	91.3			1.11	0.20
35年目	H	67	0.1712	91.3			1.11	0.19
36年目	H	68	0.1646	91.3			1.11	0.18
37年目	H	69	0.1583	91.3			1.11	0.18
38年目	H	70	0.1522	91.3			1.11	0.17
39年目	H	71	0.1463	91.3			1.11	0.16
40年目	H	72	0.1407	91.3			1.11	0.16
41年目	H	73	0.1353	91.3			1.11	0.15
42年目	H	74	0.1301	91.3			1.11	0.14
43年目	H	75	0.1251	91.3			1.11	0.14
44年目	H	76	0.1203	91.3			1.11	0.13
45年目	H	77	0.1157	91.3			1.11	0.13
46年目	H	78	0.1112	91.3			1.11	0.12
47年目	H	79	0.1069	91.3			1.11	0.12
48年目	H	80	0.1028	91.3			1.11	0.11
49年目	H	81	0.0989	91.3	-3.40	-0.34	1.11	0.11
合計					73.82	71.75	55.71	16.78
単純事業費計						77.22		55.71

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(残事業)

箇所名: 国道161号 愛発除雷拡幅

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
				0.26		4.5	1.17
-9年目	H 23	0.9615	91.3	9.52	9.16		
-8年目	H 24	0.9246	91.3	10.35	9.57		
-7年目	H 25	0.8890	91.3	8.04	7.15		
-6年目	H 26	0.8548	91.3	4.98	4.26		
-5年目	H 27	0.8219	91.3	0.95	0.78		
-4年目	H 28	0.7903	91.3	4.76	3.76		
-3年目	H 29	0.7599	91.3	3.62	2.75		
-2年目	H 30	0.7307	91.3	4.29	3.13		
-1年目	H 31	0.7026	91.3	3.94	2.77		
供用開始年次	H 32	0.6756	91.3	4.59	3.10	1.11	0.75
1年目	H 33	0.6496	91.3			1.11	0.72
2年目	H 34	0.6246	91.3			1.11	0.70
3年目	H 35	0.6006	91.3			1.11	0.67
4年目	H 36	0.5775	91.3			1.11	0.64
5年目	H 37	0.5553	91.3			1.11	0.62
6年目	H 38	0.5339	91.3			1.11	0.59
7年目	H 39	0.5134	91.3			1.11	0.57
8年目	H 40	0.4936	91.3			1.11	0.55
9年目	H 41	0.4746	91.3			1.11	0.53
10年目	H 42	0.4564	91.3			1.11	0.51
11年目	H 43	0.4388	91.3			1.11	0.49
12年目	H 44	0.4220	91.3			1.11	0.47
13年目	H 45	0.4057	91.3			1.11	0.45
14年目	H 46	0.3901	91.3			1.11	0.43
15年目	H 47	0.3751	91.3			1.11	0.42
16年目	H 48	0.3607	91.3			1.11	0.40
17年目	H 49	0.3468	91.3			1.11	0.39
18年目	H 50	0.3335	91.3			1.11	0.37
19年目	H 51	0.3207	91.3			1.11	0.36
20年目	H 52	0.3083	91.3			1.11	0.34
21年目	H 53	0.2965	91.3			1.11	0.33
22年目	H 54	0.2851	91.3			1.11	0.32
23年目	H 55	0.2741	91.3			1.11	0.31
24年目	H 56	0.2636	91.3			1.11	0.29
25年目	H 57	0.2534	91.3			1.11	0.28
26年目	H 58	0.2437	91.3			1.11	0.27
27年目	H 59	0.2343	91.3			1.11	0.26
28年目	H 60	0.2253	91.3			1.11	0.25
29年目	H 61	0.2166	91.3			1.11	0.24
30年目	H 62	0.2083	91.3			1.11	0.23
31年目	H 63	0.2003	91.3			1.11	0.22
32年目	H 64	0.1926	91.3			1.11	0.21
33年目	H 65	0.1852	91.3			1.11	0.21
34年目	H 66	0.1780	91.3			1.11	0.20
35年目	H 67	0.1712	91.3			1.11	0.19
36年目	H 68	0.1646	91.3			1.11	0.18
37年目	H 69	0.1583	91.3			1.11	0.18
38年目	H 70	0.1522	91.3			1.11	0.17
39年目	H 71	0.1463	91.3			1.11	0.16
40年目	H 72	0.1407	91.3			1.11	0.16
41年目	H 73	0.1353	91.3			1.11	0.15
42年目	H 74	0.1301	91.3			1.11	0.14
43年目	H 75	0.1251	91.3			1.11	0.14
44年目	H 76	0.1203	91.3			1.11	0.13
45年目	H 77	0.1157	91.3			1.11	0.13
46年目	H 78	0.1112	91.3			1.11	0.12
47年目	H 79	0.1069	91.3			1.11	0.12
48年目	H 80	0.1028	91.3			1.11	0.11
49年目	H 81	0.0989	91.3	0.00	0.00	1.11	0.11
合計				55.05	46.43	55.71	16.78
単純事業費計				55.05		55.71	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

銘柄名: 西武16号 受身新築地盤

株式の現在価値算定表 (積算表)

年次	年累 日次	総走行台数100年次別伸び率 (受身新築プロジェクト)			割引率 (A)	CDP テラータ	走行距離増進 (億円)				新築減少増進 (億円)				合計		
		費用増進	小型貨物	普通貨物			現在価値 (①)×(A)	費用増進	小型貨物	普通貨物	現在価値 (②)×(A)	費用減少増進	現在価値 (③)×(A)	便宜合計 (①)-(②)	便宜合計 (①)-(③)	現在価値 累計増進率	
1990年12月	H 33	0.98899	0.99550	1.01571	1.00126	91.3	2.05	0.22	4.17	6.45	4.36	0.00	0.00	0.00	6.98	6.98	4.70
1991年1月	H 33	0.98899	0.99548	1.01547	1.00136	91.3	2.05	0.22	4.21	6.51	4.36	0.00	0.00	0.00	7.03	7.03	4.56
1991年2月	H 34	0.98899	0.99545	1.01523	1.00136	91.3	2.06	0.22	4.30	6.51	4.19	0.00	0.00	0.00	7.09	7.09	4.42
1991年3月	H 35	0.98898	0.99544	1.01501	1.00136	91.3	2.06	0.22	4.37	6.63	3.87	0.00	0.00	0.00	7.16	7.16	4.30
1991年4月	H 36	0.98898	0.99542	1.01478	1.00135	91.3	2.05	0.22	4.43	6.70	3.68	0.00	0.00	0.00	7.23	7.23	4.18
1991年5月	H 37	0.98898	0.99540	1.01457	1.00135	91.3	2.04	0.22	4.50	6.76	3.75	0.00	0.00	0.00	7.30	7.30	4.05
1991年6月	H 38	0.98898	0.99538	1.01436	1.00135	91.3	2.04	0.22	4.56	6.82	3.64	0.00	0.00	0.00	7.37	7.37	3.93
1991年7月	H 39	0.98898	0.99536	1.01416	1.00135	91.3	2.04	0.22	4.63	6.88	3.53	0.00	0.00	0.00	7.44	7.44	3.82
1991年8月	H 40	0.98898	0.99533	1.01396	1.00135	91.3	2.04	0.22	4.69	6.95	3.43	0.00	0.00	0.00	7.51	7.51	3.71
1991年9月	H 41	0.98898	0.99531	1.01377	1.00135	91.3	2.03	0.21	4.76	7.01	3.33	0.00	0.00	0.00	7.58	7.58	3.60
1991年10月	H 42	0.98897	0.99529	1.01358	1.00135	91.3	2.02	0.21	4.82	7.07	3.23	0.00	0.00	0.00	7.64	7.64	3.49
1991年11月	H 43	0.98897	0.99526	1.01339	1.00135	91.3	2.02	0.21	4.88	7.14	3.13	0.00	0.00	0.00	7.71	7.71	3.38
1991年12月	H 44	0.98897	0.99524	1.01321	1.00135	91.3	2.00	0.21	4.95	7.20	3.03	0.00	0.00	0.00	7.78	7.78	3.27
1992年1月	H 45	0.98897	0.99522	1.01303	1.00135	91.3	2.00	0.21	5.01	7.26	2.93	0.00	0.00	0.00	7.85	7.85	3.16
1992年2月	H 46	0.98897	0.99520	1.01285	1.00135	91.3	1.98	0.21	5.08	7.32	2.83	0.00	0.00	0.00	7.92	7.92	3.05
1992年3月	H 47	0.98897	0.99518	1.01267	1.00135	91.3	1.98	0.21	5.14	7.38	2.73	0.00	0.00	0.00	8.00	8.00	2.94
1992年4月	H 48	0.98897	0.99516	1.01249	1.00135	91.3	1.96	0.21	5.21	7.44	2.63	0.00	0.00	0.00	8.07	8.07	2.83
1992年5月	H 49	0.98897	0.99514	1.01231	1.00135	91.3	1.95	0.21	5.27	7.50	2.53	0.00	0.00	0.00	8.14	8.14	2.72
1992年6月	H 50	0.98897	0.99512	1.01213	1.00135	91.3	1.93	0.21	5.34	7.56	2.43	0.00	0.00	0.00	8.21	8.21	2.61
1992年7月	H 51	0.98897	0.99510	1.01195	1.00135	91.3	1.93	0.21	5.40	7.62	2.33	0.00	0.00	0.00	8.28	8.28	2.50
1992年8月	H 52	0.98897	0.99508	1.01177	1.00135	91.3	1.88	0.20	5.47	7.68	2.23	0.00	0.00	0.00	8.35	8.35	2.39
1992年9月	H 53	0.98897	0.99506	1.01159	1.00135	91.3	1.88	0.20	5.53	7.74	2.13	0.00	0.00	0.00	8.42	8.42	2.28
1992年10月	H 54	0.98897	0.99504	1.01141	1.00135	91.3	1.84	0.20	5.60	7.80	2.03	0.00	0.00	0.00	8.49	8.49	2.17
1992年11月	H 55	0.98897	0.99502	1.01123	1.00135	91.3	1.83	0.20	5.66	7.86	1.93	0.00	0.00	0.00	8.56	8.56	2.06
1992年12月	H 56	0.98897	0.99500	1.01105	1.00135	91.3	1.81	0.20	5.73	7.92	1.83	0.00	0.00	0.00	8.63	8.63	1.95
1993年1月	H 57	0.98897	0.99498	1.01087	1.00135	91.3	1.79	0.19	5.80	7.98	1.73	0.00	0.00	0.00	8.70	8.70	1.84
1993年2月	H 58	0.98897	0.99496	1.01069	1.00135	91.3	1.77	0.19	5.86	8.04	1.63	0.00	0.00	0.00	8.77	8.77	1.73
1993年3月	H 59	0.98897	0.99494	1.01051	1.00135	91.3	1.74	0.19	5.93	8.10	1.53	0.00	0.00	0.00	8.84	8.84	1.62
1993年4月	H 60	0.98897	0.99492	1.01033	1.00135	91.3	1.72	0.19	6.00	8.16	1.43	0.00	0.00	0.00	8.91	8.91	1.51
1993年5月	H 61	0.98897	0.99490	1.01015	1.00135	91.3	1.70	0.19	6.06	8.22	1.33	0.00	0.00	0.00	8.98	8.98	1.40
1993年6月	H 62	0.98897	0.99488	1.01000	1.00135	91.3	1.69	0.19	6.12	8.28	1.23	0.00	0.00	0.00	9.05	9.05	1.29
1993年7月	H 63	0.98897	0.99486	1.00982	1.00135	91.3	1.67	0.19	6.19	8.34	1.13	0.00	0.00	0.00	9.12	9.12	1.18
1993年8月	H 64	0.98897	0.99484	1.00964	1.00135	91.3	1.65	0.18	6.26	8.40	1.03	0.00	0.00	0.00	9.19	9.19	1.07
1993年9月	H 65	0.98897	0.99482	1.00946	1.00135	91.3	1.63	0.18	6.32	8.46	0.93	0.00	0.00	0.00	9.26	9.26	0.96
1993年10月	H 66	0.98897	0.99480	1.00928	1.00135	91.3	1.62	0.18	6.39	8.52	0.83	0.00	0.00	0.00	9.33	9.33	0.85
1993年11月	H 67	0.98897	0.99478	1.00910	1.00135	91.3	1.60	0.18	6.45	8.58	0.73	0.00	0.00	0.00	9.40	9.40	0.74
1993年12月	H 68	0.98897	0.99476	1.00892	1.00135	91.3	1.58	0.18	6.52	8.64	0.63	0.00	0.00	0.00	9.47	9.47	0.63
1994年1月	H 69	0.98897	0.99474	1.00874	1.00135	91.3	1.57	0.18	6.59	8.70	0.53	0.00	0.00	0.00	9.54	9.54	0.52
1994年2月	H 70	0.98897	0.99472	1.00856	1.00135	91.3	1.55	0.18	6.65	8.76	0.43	0.00	0.00	0.00	9.61	9.61	0.41
1994年3月	H 71	0.98897	0.99470	1.00838	1.00135	91.3	1.53	0.17	6.72	8.82	0.33	0.00	0.00	0.00	9.68	9.68	0.40
1994年4月	H 72	0.98897	0.99468	1.00820	1.00135	91.3	1.51	0.17	6.79	8.88	0.23	0.00	0.00	0.00	9.75	9.75	0.39
1994年5月	H 73	0.98897	0.99466	1.00802	1.00135	91.3	1.50	0.17	6.85	8.94	0.13	0.00	0.00	0.00	9.82	9.82	0.38
1994年6月	H 74	0.98897	0.99464	1.00784	1.00135	91.3	1.48	0.17	6.92	9.00	0.03	0.00	0.00	0.00	9.89	9.89	0.37
1994年7月	H 75	0.98897	0.99462	1.00766	1.00135	91.3	1.46	0.17	6.99	9.06	0.03	0.00	0.00	0.00	9.96	9.96	0.36
1994年8月	H 76	0.98897	0.99460	1.00748	1.00135	91.3	1.44	0.17	7.05	9.12	0.03	0.00	0.00	0.00	10.03	10.03	0.35
1994年9月	H 77	0.98897	0.99458	1.00730	1.00135	91.3	1.43	0.17	7.12	9.18	0.03	0.00	0.00	0.00	10.10	10.10	0.34
1994年10月	H 78	0.98897	0.99456	1.00712	1.00135	91.3	1.41	0.17	7.19	9.24	0.03	0.00	0.00	0.00	10.17	10.17	0.33
1994年11月	H 79	0.98897	0.99454	1.00694	1.00135	91.3	1.39	0.16	7.26	9.30	0.03	0.00	0.00	0.00	10.24	10.24	0.32
1994年12月	H 80	0.98897	0.99452	1.00676	1.00135	91.3	1.37	0.16	7.33	9.36	0.03	0.00	0.00	0.00	10.31	10.31	0.31
1995年1月	H 81	0.98897	0.99450	1.00658	1.00135	91.3	1.36	0.16	7.40	9.42	0.03	0.00	0.00	0.00	10.38	10.38	0.30
合計							86.21	3.67	244.93	342.81	102.99	3.81	0.01	0.01	371.29	371.29	101.95

(事業全体)

路線名	箇所名	車線数	延長
国道161号	愛免除雪拡幅	2	4.5km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費			式	1	6,870	
	改良費		式	1	953	
		土工	m3	132,400	670	切土(2万m3)、盛土(11万m3)
		軟弱地盤改良工	m3			
		法面工	m2	18,740	28	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	226	補強土壁、L型擁壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		函渠工	m	45	29	
	橋梁費		式	1	109	
		100m以上	m			
		100m未満	m	44	109	PC橋2橋
	トンネル費		式	1	4,328	
		バイブルーフ	m	63	4,328	1本(上下線)
		NATM	m			
	IC・JCT費		式			
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費		式	1	934	
		車道舗装	m ²	60,678	934	
		歩道舗装	m ²			
	付帯施設費		式	1	546	
交通管理施設工		式	1	546	標識工、防護柵工、道路照明等	
遮音壁		m				
②用地及補償費		式	1	403		
用地費		m ²	55,610	340		
	宅地	m ²	2,890	58		
	田畑	m ²	13,740	220		
	山林・原野	m ²	38,980	62		
	補償費	式	1	63		
③間接経費		式	1	827	地質調査、測量、設計にかかる費用等	
事業費合計					8,100	

路線名	箇所名	車線数	延長
国道161号	愛発除雪拡幅	2	4.5km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費			式	1	4,913	
	改良費		式	1	910	
		土工	m3	122,400	627	切土(1万m3)、盛土(11万m3)
		軟弱地盤改良工	m3			
		法面工	m2	18,740	28	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	226	補強土壁、L型擁壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		函渠工	m	45	29	
	橋梁費		式	1	109	
		100m以上	m			
		100m未満	m	44	109	PC橋2橋
	トンネル費		式	1	2,888	
		バイブルーフ	m	63	2,888	1本(上下線)
		NATM	m			
	IC・JCT費		式			
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費		式	1	604	
		車道舗装	m ²	60,678	604	
		歩道舗装	m ²			
	付帯施設費		式	1	402	
交通管理施設工		式	1	402	標識工、防護柵工、道路照明等	
遮音壁		m				
②用地及補償費		式	1	329		
	用地費		m ²	55,610	286	
		宅地	m ²	2,890	58	
		田畑	m ²	10,540	169	
		山林・原野	m ²	36,980	59	
補償費	式	1	43			
③間接経費		式	1	538	地質調査、測量、設計にかかる費用等	
事業費合計					5,780	

(事業全体、残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
国道161号	愛発除雪拡幅	2	4.5km

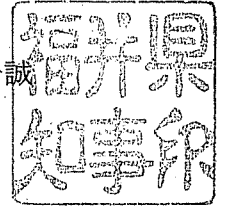
■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	4.5	1,300	巡回、清掃、除草等
修繕費	式	1	4,600	橋梁0.04km、トンネル0.06km
維持管理費合計			5,900	

平成23年3月9日

近畿地方整備局長 様

福井県知事 西川一誠



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）
の作成に係る意見照会について（回答）

平成23年3月4日付け国近整企画第79号で照会のありました国道417号冠山峠道路
および国道161号愛発除雪拡幅の再評価に係る対応方針（原案）について、下記のとおり
回答します。

記

- 1 冠山峠道路の対応方針（原案）「事業継続」については異存なし。
できる限り早い時期の供用を目指すとともに、一層のコスト縮減に努めること。
また、トンネルの整備に当たっては、災害や緊急の際の通信通話環境を確保するため必
要な措置を講じること。
- 2 愛発除雪拡幅の対応方針（原案）「事業継続」については異存なし。
事業実施に当たっては一層のコスト縮減に努め、疋田トンネル区間について、平成26
年度の降雪期までの供用を図ること。
- 3 防災面の効果が特に大きい事業の評価について
平成23年1月の大雪により、北陸自動車道や国道8号が長時間通行止めとなり多大な
影響を及ぼしたことを踏まえ、雪害による地域経済の損失回避等を加えた効果の確認方法
について十分に検討すること。
- 4 その他の意見
 - イ 中部縦貫自動車道の整備促進（ミッシングリンクの早期解消）
永平寺大野道路については、平成24年度供用が示された勝山・大野間および平成
26年度供用が示された福井北・松岡間の確実な開通に加え、残る永平寺東・上志比
間の整備スケジュールの明確化を図り、平成28年度までのできるだけ早い時期に全
線開通が図られるよう十分な事業費を確保すること。
大野油坂道路については、未事業化区間（大野・大野東間、和泉・油坂峠間）の一
日も早い事業化の決定を行い、今後10年から15年での全線開通を図ること。特に、
事業化されている大野・和泉間については速やかに用地買収・工事に着手すること。
 - ロ 地方への意見聴取
直轄事業負担金の負担者として、事業全体を見て判断する必要があるため、意見聴取
に当たっては、今回のように個別箇所だけではなく事業全体の見通しについても意見を
述べる機会とすること。
 - ハ 事業評価監視委員会
事業評価監視委員会の委員選定に当たっては、地方を代表する委員も選定すること。